夕刊
磐城新聞
八月十八日發行
定價 一ヶ月金六拾五錢（郵税共）
發行所 磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇八〇五・六五五番

天氣豫報　小名濱測候所發表
今晩も明日も南の風晴

朝顔の歌

岩木新平

朝な朝な朝顔が、美しい花を咲かせてたのしませてくれる。ふと古から朝顔にはどんな歌があるかと、貧しい机上で一寸調べて見た

萬葉集には、萩やなでしこにお株をとられたかたちで、一向に見あたらない

○萩が花尾花葛花なでしこの花女郎花また藤袴朝顔の花　憶良

この七草の歌の朝顔は、桔梗のことださうだから問題にならない。巻十には

○展轉び戀は死ぬともいちじろく色には出でじ朝貌の花

○言に出でて云はゞゆゝしみ朝貌の穂には咲き出ぬ戀をするかも

こんな歌があるのを見ると、昔から朝顔の花はあつたものと思はれる。にもかゝはらずその歌の少ないのはどうしたことだらう。露ながら萎む、はかない花として、古人に忌まれたものであるまいか

○朝顔は朝な朝なに咲きかへて盛り久しき花にぞありける　後水尾天皇

叡明なる帝は、おほらかに朝顔を、かくたゝへさせ給うて、朝顔の花もだんだん面目一新した。その後は朝顔の歌も多く世に出た様に思はれる

○我さきに起きてぞ見つる白露の垣根にかゝる朝顔の花

現今の朝顔愛好家におとらない公達も現はれた

○しのびつまおきて別れの袖垣に伴のこるあさがほの花　知家

○有迚も頼むべきかは世の中を知らするものは朝顔の花　和泉式部

○あす咲かん花やいくつと朝顔の蕾かぞふる夕かげもよし　蓮阿

○有明の露に宿して朝顔は秋の光りをあつめつるかな　山本依一

このほか、朝顔の花のはかなさと、人世を詠嘆する歌はいくらでもあるが、遂に後水尾天皇に及ぶものを見出すことが出來なかつた

さて現代の歌人にはどんな名歌があるだらうか。そのうち調べてみたいと思つてゐる

8月19日
△鼠小僧を梟す（天保三）△水夫を水兵と改稱（明治九）

鉛上夏日

珠雲　小野務平

座登山房時思濟
綠陰幽處有殘鶯
凉飆一陣從巖際
翠壁雲飛挂瀑聲

講談 妖刀流轉（ようとうるてん）

(169) 邑井貞吉演　佐々木今朝吉畫

裏劍の名譽手（六）

澤田角右衛門は面目ヶ施して、塀へ打込んだ手裏劍を懐中へ納めると、竹腰殿殊の外御滿足で、早瀬林左衛門より澤田へ對して

林『さて角右衛門殿、主人も悉くの御感服で、就ては主人お手廻りの物何なりとも、お望み次第御褒美を下し置かれます故、何なりとお好みになつたら宜しからう』

云はれた時に角右衛門が

角『左様で御座いますか、然らばお言葉に甘えて角右衛門一つの望みが御座います』

林『ウム何をお望みに相成るな』

角『外でも御座いませんが、殿様御家來にお召使ひを願ひ度い者が御座います』

林『ホヽウ、それでは貴殿が主人へ仕官のお望みで御座るか』

角『イヤ〳〵拙者では御座いません、私には永住與力と申す勸めもあり、仕官を望むのでは有りませぬが、私の朋友兩名をお抱へ願ひ度いので』

林『シテ〳〵それは如何なる御仁で御座る』

角『されば、餘人では御座らぬ只今艮のお暇の出ました坂月氏叛瀧氏、此兩人をお召抱へ願ひ度い』

林『何と仰しやる』

角『今日の不始末より主君の御立腹に觸れ、お暇と相成りしは、是非なき儀には御座れども、兩名とても者衆の通り、今日より浪々の身と相成るは如何にも不憫と存じ申す、それのみならず拙者へ、永く遺恨を重ぬるやうな事があつても成りませぬ、今日に懲りてこの後は、屹度心を改めますよう、拙者よりも篤と忠告致しますれば、何卒今日の不心得はお許し下され、以前の如く御家臣としてお召抱へ下さらば、澤田角右衛門この上の喜びは御座りませぬ、この儀何卒お願ひ申上げます』

實に立派な角右衛門の精神、早瀬林左衛門も感服いたし、この趣きを殿樣へ申上げる

竹腰殿も感心なことに思召され、そこで澤田の志しに免じて、坂月叛瀧の兩名元々通り歸參をお許しに成つたから、兩名の喜びは如何ばかり、心から先非を後悔して厚く澤田角右衛門に詫を申し取なしの禮を述べ

これよりは心を入れ替へて眞面目な人間になりました

この時竹腰殿御感服の餘り、金二枚の御褒美を角右衛門に賜はり、爾來引つゞいて五人扶持を頂戴する事に成つた次第

これ程の角右衛門、而も西條粂之進の親友でありますから、粂之進は病床ながら大太郎の修業を、この角右衛門に托する事を思ひついたので御座います

そこで翌日になると、おちかが大太郎を連れ澤田の許へ參り、不慮の災難より夫に先立れ、餓浪人となつた身の上を物語りまして、大太郎の教育を頼み込んだ處。早くも角右衛門これは敵討が望みで武藝を修業をするのだなと見て取つた

如何にも氣の毒に心得、その上外ならぬ親友西條粂之進の孫でありますから、澤田も快く承諾した

これから大太郎が毎日々々寒暑風雪を厭はず、八幡村から鷹匠の道場へ通ひ、少年ながら一心に成つて劍術を勵む中に、圖らずもこゝを中心にして又も一場の波瀾が生ずるお話……』

磐城歌壇

高端巍

『農村風景』（下）

○山鳩は朝の杜よりしば啼きて霧はれぬ畑に人ら忙しき

○ガラス窓に戸惑ひもがく蜻蛉捕へ外に出しやればひたに飛びゆく

『村境の碑石』

○百とせを在り經しこれの石文や開くべきはたゞ松風のおと

『舊邸跡』

○平八といふ家族が住みし死に絶へて畑となりつゝ幾とせや經し

夜半の鐘

佐分利晃

あらゆる騷音絶へ果てゝ
靜まり返る夜半に
餘韻かすかにふるはせて
哀調を帶びた鐘がなる
一つ……二つ……
なんと云ふ寂しい音であらう
何かを訴へてむせび泣くやうな音
この鐘の音を聞くと私の胸はかきむしられるやうだ

それは……
臨終の父が病み痩せし手に力無く筆をとり仰臥のまゝ
『跡頼む法りの旅へ我は今』と書き終えし時響いて來た鐘の音にうつろな瞳を天井に向けかすかな聲で
『鐘がなる!』とたつた一言が最後の言葉として黄泉に旅立つて仕舞つた
今もその聲がわが耳朶に焼きついて
夜毎に響くあの鐘が父の聲の如く思はれてならないからだ
あゝ寂しい寂しい鐘が
三……四……

磐城の御みやげ品
名物 靈峰（みやま）羊羹 金十錢
姉妹品 柿羊羹。のり羊羹。沼ノ内辨天羊羹。
御旅のお出入には好個のお土産品です。小賣御希望の方お申越下さい。
製造發賣元 小川郷驛前 平屋賣店

互融會事業近況
電話五五五番お忘れなく
事業報　昭和十二年七月中
融通口數 一三四口
融通金額 七三三二、〇〇
滿期拂戻金額 二四口
滿期拂戻金額 一、〇八〇、〇〇
概況 昭和十二年七月末現在
會員數 七、八〇〇口
會員世帶數 五、一二四〇〇戸
積立金額 九七、四九一、三七
融通金額 二九、四四一、〇七
回收金額 四九、六九二、四〇
滿期拂戻口數 三三二口
滿期拂戻金額 一〇、九三五、〇〇
一、社會公共事業及慈善事業ヘノ奉仕
一、精神修養講話會
一、會員ノ吉凶慶弔
一、會員相互見舞
一、人事相談及婚姻ノ媒介
一、診療救血ノ補償
一、税金ノ代納事務取扱
一、會報發刊
一、勤儉日積立金ノ奨勵
一、小資本金ノ相互融通
石城中小商工互融會
太平火災海上保險株式會社平中央代理店
事務所 福島縣平市播槌小路一番地 電話五五五番
小名濱方部 小名濱町古湊　湯本方部 湯本町裏町
菊田方部 植田町※町　相双支部 原町東一番町

病室増築、手術室完備
産科 婦人科 醫學博士 五十嵐雄二
往診隨時 平市新川町『電話三六九番』

和洋 建具 家具 テーブル 椅子……
其他裝飾品一般……
御用命は迅速に御努め致します。
諸官衙 各學校 御用達 製作販賣
平市五丁目四
(片) 片寄製作店 片寄小源太 電話四八四番
十五、六歳以上の見習徒弟募集 御希望の方は至急御出で下さい

お醤油は……ヤマフル
味噌醤油 たひら正宗 鰹節 食料品
醤屋 山崎合名會社
福島縣平市 電話（本店二七番）（營業部一〇番）
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

産科 婦人科專門 平市南町五二
(手術室完備)(入院隨時)
根本醫院 根本莊次郎 根本貞雄 電話三四番

耳鼻咽喉科專門 醫學士 鈴木正男
平市田町（電話五八番）藤田女學校前
齒科 口腔外科 日本齒科醫學士 鈴木喜政
『入院のお需めに應ず』(看護婦及び見習看護婦募集)
鈴木醫院 内郷村高坂 磐炭病院前

新築落成
外科（内臓外科及一般外科） X光線科、花柳病 岩手醫學士 萬波勳
内科、小兒科 院長 前田清美
(自炊ノ便アリ)(病室完備)
前田醫院 田町本町電話二二四番

一般貨物運搬
迅速低廉に御取扱ひ致します。
福好工業合資會社 代表者 强口唯七郎
自動車部 電話二八二番
砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します。

銘木（床ノ間材）天井板、ベニヤ板買ふなら確かに御期待に添ふ良品廉價の
(万) 織田材木商店へ 福島縣平市 電話平四六〇番
一度せる勉強振りを、ぜひ一度お試を乞ふ
營業種目 建築木材一式 銘木・ベニヤ板 秋田杉四分板 建具材・便利瓦

精神病科 脳脊髓病科 神經病科
内務省指定 福島縣立代用精神病院
郡山腦病院
郡山驛より約三十丁 安積中學より約五丁
郡山市外大槻村針生 電話九二五番
入院隨時 院長 醫學士 金森五郎

實用新案 第一八七四三〇號 意匠登録 第六六一六七號
石山式 石綿ムシカマド
こんな經濟的『かまど』は他にありません
安價な燃料で濟み、保温力が強く堅牢で火の元絶對安全！、御使用に御便利な！石綿製のムシカマド、近代生活のお台所に是非、おすゝめ致したい新製品で御座います。

和洋銅物 金物問屋
御贈答品には
(久) 釜屋商店 平市五丁目

ニンベン かつをぶし
(イ) 宍戸屋商店 平市四丁目
電話（鹽干部）二一五番（鮮魚部）四〇七番

外科、内臓外科 エツキス光線科 ……新設…… 産婦人科
院長 安齋徹　醫學士 黒澤廣
入院隨意 平市田町 安齋醫院 電話四七五番

内臓外科一般 外科花柳病科（入院隨意）
平市六丁目（橋際）
木村外科醫院 電話三〇九

各派編隊も鮮かに 市制初年の豫算可決
活氣を見せた昨日の市會

市制第一年度の平市豫算を審議する本會議は既報の如く十七日午後二時二十分開會、これより先き各會派では鮮やかな編隊の下に議場に於ける策戰を練つて臨み、議場内夙くも一種の緊張味を見せた、蓮沼副議長代つて議長席につき野崎委員長から修正豫算（括弧内修正）

歳入＝臨時豫算（自四月至八月）一六三、九六八圓追加四五一、七七三圓（修正豫算四五〇、九〇七圓）合計六一五、七四一圓（同六一四、八七五圓）

歳出＝經常二三四、八二七圓（同二三四、〇六一圓）臨時二一六、九四六圓（同二一六、八四六圓）合計六一五、七四一圓（同六一四、八七五圓）

の各項目に亘つて約四十分餘に亘る説明報告後直に質疑應答に入る

警備費で一論戰
結局削減修正通過

劈頭馬目、根本兩議員から地租附加税減額、戸數割増加についての質問に對し野崎委員長これに應へ愈よ問題の警備費に移る——

（井上）警備費は平窪合併による經費の増大で減額したといふが、農村は市街地とは別で大火事の場合の外出動を促さない、士氣沮喪の影響もあれば手當減額は考慮して欲しい

（野崎）舊平窪消防手の年手當は八十錢に過ぎなかつた、舊平町と平窪は將來をも考慮して此際同一視するのが當然であらうこれによる經費の増大を憂慮つて減額したもので、組員の緊張を欠く心配はないと思ふ

これに對して更に井上議員の説明後

（馬目）平消防組は奉仕消防であると云はれるが手當の減額によつて奉仕意識に影響は來まい、現下の非常時には手當を云々する要はないであらう

この間野崎、井上、酒井、鈴木（彌）各議員の質問應答に次いで

（川崎）消防手の犧牲的奉仕精神に基いてこの減額を見たとも云はれ、手當の減額により決して消極現象は生じないだらうと思ふ

なほも馬目、井上兩議員の間に經費削減による影響問題が云ひ交されて議場頓に活氣を呈したが一たん休議同四時半野崎議長の下に再開されるやまた前記問題を中心に論議されて一と波瀾を來したが、馬目議員からの動議により裁決の結果

十五名對八名

を以て修正案を可決、尚市長給料百八十三圓増額（年千二百十七圓を千四百圓に）の修正案に對して當の菅沼氏から原案可決の希望意見が出たが滿場一致修正案通りにきまり更に修正總豫算でも結局裁決となつたが、左の如く十九名對八名で修正案を可決確定した

（修正）高橋　永山　吉田（五）　鈴木（庫）　山野邊　馬目　鈴木（庄）　松本　川崎　萩原　藤田　金古　大嶺　大谷　矢吹　蓮沼　吉村（安）　佐藤　大井川

（原案）根本　鈴木（彌）　吉田（貢）　酒井　松崎　井上　鈴木（光）　矢吹（初）

消防出場手當は卅錢に
合計約千圓を削減

原案に對する修正（歳出）は警備費が主で總額六千十一圓であつたものが九百四十九圓を削減して五千六十二圓となつた

修正の内譯は雜給二、〇五一圓（原案二、九四四圓）手當八三五圓（同一、四八一圓）備人料六八圓（同二六七圓）賞與一、一四三圓（同一、一九一圓）鐘樓費一四五圓（同二〇一圓）番人給一〇五圓（一六一圓）

これは平窪消防組が平に合併されたに伴ふ經費增大を緩和した結果で部長六名が五名に減員された外組頭以下幹部悉くの手當に大削減を加へ消防手出動の場合も從來の一回五十錢を五十錢以内と修正、大体三十錢程度を實施することに決定した

手當左の如し（括弧内原案）組頭二十五圓（五十圓）副組頭二十圓（四十圓）小頭部長十五圓（三十圓）伍長九圓（十八圓）消防手出動手當五十錢以内（五十錢）

戸數割引上
平均十五錢二厘

歳入の修正は地租附加税の減額と特別戸數割增額が主なるもの

地租附加税は平窪關係のものでその總額三千七百二十五圓が千六百十九圓を減じて二千百六圓となり特別戸數割は八百二十三圓を增額して九萬七千三百八十圓、これにより一戸平均十八圓が十八圓十五錢三厘と修正された

修正手當　削減された

市補助增加

修正された市費補助金左の如し（括弧内原案）△訓盲院三百圓（二百五十圓）△商工會千圓（七百圓）△發蠶貸行組合百圓（六十五圓）△火防組合四百五十圓（四百三十五圓）

誠に結構なお盆
非常時氣分を反映して 踊りも一層盛んか

今十八日愈よ舊盆第一日。朝來の好晴、暑い點に於て天候が良過ぎるの感があるが模様が大丈夫の折紙が附いてヂャンガラ隊の賑ひも思ひなしか新盆が常の年より多いらしい丈けに一しほと想像されるものがある。二十、二十一（舊十五、十六日）兩日の踊りは元氣潑剌の軍國氣分を加味して一層なものがあるものと豫想されるが、之れが中心をなす櫓は道路鋪裝の關係から從來の役場前を減らし驛前と南町の二個所に設ける事となつてゐる。各方面の條件を綜合し誠に良い今年のお盆ではある

夏枯れ風何處を吹く 送炭量全面的に增加
今月上旬の明朗統計

全然夏枯れの消極氣分を忘れさせてゐる最近の常磐炭界は今月上旬に於ても依然たる好景氣を數字に物語つて居る、即ち去る一日以降十日迄の統計が示す發送高は

一般事業用四、〇〇四車四九、二三六噸　鐵道用一、一六五車一五、六〇二噸　合計五、一六九車六四、八三八噸

で前年同期を凌駕する事左記内譯の通り實に四百五十八車七千九百五十六噸に上る

（增差）一般事業用三九四車五、八五九噸　鐵道用六四車二、〇九七噸

來年度を目指し 豐間港修築陳情
鈴木村長ら出縣

豐間漁港第二期工事については既報の如く再三の陳情にも拘らず本來年度修築工事は四倉港に決定してしまつたので來年度には是非實現を圖るべく鈴木村長外有志一同は十六日午後出縣、君島知事等に陳情を試みた

住友から 職工五十名
平紹介所で斡旋

平職業紹介所へ更に大阪市住友金屬工業株式會社伸銅所から職工五十名の斡旋依頼あつた

資格は滿二十歲より二十五歲迄の純農村出身高小卒業者、初日給一圓七十錢

巡査合格者

本縣警察練習所の入所詮衡第二次試驗の結果地方合格者左の如し

平市橋山昇　湯本町上遠野榮松　草野村片寄工

延六萬二千
ラヂオ体操賑ふ

『健康日本のシンボル』——市内のラヂオ体操の會は愈よ明後二十日で終るが十八日迄の參加延人員は六萬二千七百九名で昨年の四萬六千七百五十二名に比し一萬四千九百五十七名の增加を示し頗る好成績である、尚勤務者は目下の處四百二十九名である

磐崎荒しの藤太郎
けふ起訴收容さる

既報、區長さんなどにひつ捕へられた泥的——埼玉縣比企郡平村生れ無職前科一犯岡野藤太郎（三二）は平檢事局櫻井檢事の取調べを受けてゐたが、十八日起訴

同人は去月二十九日夜十時上遠野村の某家から衣類數點（八圓九十錢）を盜んだ外翌三十日は磐崎村藤原吉田延太郎方からパナマ帽子外四點（三圓五十錢）更に同村藤原江尻茂方に入つたが發見されて逃走したもの

四倉野球大會

四倉町鷄鳴會主催で第五回町内野球大會を來る二十二日午前八時から同町小學校々庭に擧行、參加六チーム

浴場荒しに十ヶ月
勿來の海水場荒し

——川部村三澤日雇業前科一犯市川悦次（三二）は十八日平區野木裁判長から求刑一年に對し懲役十ヶ月の判決直に服罪

詐欺漢起訴

三重縣生れのルンペン漁夫庄司松之助（三三）は十八日櫻井檢事から詐欺罪で起訴

同人は六月十五日三重縣尾鷲町カフェー太陽方外二ヶ所で約二十圓分のロハ飲みをして逃走小名濱町で捕はれたもの公判は十九日午前十時から平區田中裁判長で開廷する

礦山野球

前覇入山力戰空しく 強剛磐炭軍勝ち殘る
けふ松尾と准決勝接戰

礦山協會仙臺當務委員會主催第五回東北礦山庭球大會は十七日午前七時半から仙臺市片平丁東北帝大理學部、法文學部兩コートで催され宮城縣の細倉、岩手縣の釜石、松尾、秋田縣の尾去澤、花岡、日石、小坂、吉乃、地方からは古河、入山、磐炭の十一礦山から三十一組の參加あつた、先づ選手の入場式を行ひ次いで前年度の優勝チーム入山から優勝旗の返還があつたのち大會々長中村礦山監督局長の挨拶、選手代表小森山入山選手の宣誓があつて愈よ戰ひの火蓋は切られたが午前中の戰績は次の如くで入山と尾去澤が優勢である（一チーム三組、リーグ戰で勝點の多いものを勝者とする）

入山3—0磐炭
古河2—1松尾
松尾2—1釜石
入山2—0磐炭
入山2—1松尾
釜石2—1古河

健棒また好打
三大炭礦の善戰振り

昨十七日午後に入つていよ〳〵白熱化したゲームが展開されたが、入山は四勝四敗で七つかず、また古河は意外にも振はず四勝三敗の不成績であり結局第一日の得點は

日石一三點　入山一一點　花岡一一點　尾去澤九點　磐炭七點　小坂七點　尾去澤五點　吉乃五點　釜石三點　細倉零點

で日石が最も優勢である、なほ二日目の今十八日は午前八時から引續き行はれる

◇理學部コート

磐炭2—1古河
入山3—0釜石
古河2—1松尾
磐炭3—1釜石

磐炭對日本石油の一勝戰は九時四十六分より古河の先攻で開始七回のコールド・ゲームで一七對五、日石一勝し十一時四十五分閉戰、兩軍の投捕手は日石（菅原、藤田、江村）古河（星野、新村、渡邊）

古河	0	0	2	0	0	0	1	2	5
日石	3	0	6	1	0	7	×		17

入山對日本石油の二勝戰は三時三十分より入山先攻にて開戰、一二對六日石二勝し五時三十分閉戰、兩軍投捕手は日石（菊原—江尻）入山（佐藤、金土—山下）

入	0	1	4	0	0	0	0	1		6
日	5	1	0	2	0	0	2	2	×	12

釜石對磐炭の二勝戰は午後三時二十分から磐炭先攻で開始、七對五で磐炭捷つ閉戰五時四十分、兩軍の投捕手は磐炭（涌井—沼田）釜石（澤藤—中村）

磐	0	0	0	2	0	2	1	1	1	7
釜	1	0	0	0	3	1	0	0	0	5

◇けふの准決勝　八時三十分より開始

△磐炭—松尾
△日石—小坂
△優勝戰（同日三時より）

傳貧

荷路夫村間明澤佐藤末藏氏飼育の牝馬（十八才）は傳貧異症と判つて屠殺處分

兵隊さんへ
乙女達から慰問袋

十八日平市役所へ左の乙女らそうな達から慰問袋各一個宛寄託された

安積高女一年生郡山市稻荷町大柴貞子、磐城高女二年生市内古鍛冶町二八高野喜美子、同笑美子、同吉江、平第二校五年生同靜江、二年生光子、啓子

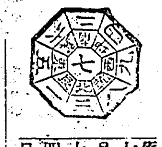
市内一丁目菅本庄一郎、同幹子、シゲ子の三人兄妹も慰問袋各一個を作つて市役所へ

市内大工町多田井笑次郎氏は新盆の節約四十圓を軍事獻會へ

た披露目

林家から何代目かの米香が出現したアメリカの香りとあつてバタ臭い處もあるが米の匂ひもあつて農村の二男坊などにも持て囃さるる萬人向きの妓であ

十九日（小名濱潮候觀測）滿潮　前一、〇五　後四、二〇　干潮　前八、五五　後九、一〇



暦　木曜　新八月十九日　舊七月十四日　戊寅　友引　破　角宿

諸判定應需　東京市本郷區湯島四丁目　高島易斷總本部　神誠館

▲一白　苦樂をゐぢすれば次第に發展す新事業あり▲二黒　勇往よいしんしてして奏功大いなり起業開店皆吉▲三碧　多少のさてつありとも人に頼て順調に進む▲四綠　衰運甚だし萬々進み求む所ら大難にあふ▲五黄　憤事なかき努力に任せ妄動して大敗を招く▲六白　心の間隙に乘ぜられ巧言に迷はさるゝ勿れ▲七赤　協力一致して家業に親めば吉營業移轉は凶▲八白　奮起功を奏す起業開店皆吉旅行相談事吉▲九紫　己を持する事餘貨に金錢にたん白なれば安全

御みやげ……に　御贈答……に
味に　包裝に　郷土色豊かな
潮の華（一本十錢）
進物用　50　70　1.00
平市五丁目　泉屋菓子舖
電話六六八

上原家政婦會
平市紺屋町一一
會主産婆　上原通子
電話二二一番
産婆看護婦資格有者ニシテ最モ熟練ナル者ヲ一般家政婦トシテ派出致シマス

ミシン販賣
◎責任を保證するシンガーの營業◎
◎ミシンを買ふならシンガー會社より◎
◎家庭用ミシン新品中古　◎針、油、部分品類
◎月賦解約品格安品等　◎洋裁書籍
◎職挑品特價品各種　◎ミシン洋裁修繕教授
平市田町（市驛前世界館側大通り）
シンガーミシン
會社販賣部
◎新品は七ヶ月の月賦　販賣し中古格安品は他の追從を許さぬ斷然安價にて販賣
◎ミシンは信用ノ責任を保證するミシン會社からお求めなさる方確實ならん

ほねつぎ
桑原柔道整骨院
平市公園下
電話六七四
神經痛ニ　リウマチス　オレンヂパスタ

呼吸疾患救濟の王……
陸海軍御用
帝國大學醫學部御用
官公立醫學專門學校御用
吸入用酸素
體溫計（メートルグラス）
御用命次第迅速に御屆け致します。
處方箋調劑所　阿康藥局
平市古鍛治町縣社ノ下
電話四四番
振替口座東京三〇〇六五